

# 地質標本館 第4回地質写真コンテスト 結果について (3)

宮内 渉<sup>1)</sup>・青木正博<sup>1)</sup>

第4回地質写真コンテスト(2007年3月開催)において受賞されました作品紹介の3回目です。今回は入館者賞作品5点をご紹介します。作品は口絵321-322頁に掲載しました。写真説明等については第1表のとおりです。なお、地質写真コンテストの概要については、本誌2012年5月号で報告しておりますので合わせてご覧ください。

第4回地質写真コンテスト受賞作品紹介は今回が最終回です。次回は第5回地質写真コンテスト受賞作品をご紹介します。

MIYAUCHI Wataru and AOKI Masahiro (2012) Result report of the 4th Geological Photograph Contest (3).

(受付:2012年9月4日)

第1表 第4回地質写真コンテスト受賞作品(3)。

	氏名	題名	テーマ・ カテゴリー	撮影場所	撮影年月日	カメラ名	フィルム名・ 画素数	写真の説明
入館者賞	斎藤 眞	鋸山の石切場に行く	調査風景	千葉県富津市 鋸山	2006/3/5	Canon PowerShot A620 7.3-29.2mm F2.8-4.1	3072x2304	房総半島の景勝地鋸山の北斜面には房州石の石切場があり、鋸山の登山道が通ります。切り立った壁の足下をいく登山道には、独特の雰囲気があります。この地層は黒滝不整合後に堆積した、鮮新～更新統の上総層群竹岡層の凝灰質砂岩～礫岩で、斜交葉理などが見られます。ここでは昭和57年(1982年)まで採掘が行われ、横浜港高島棧橋、早稲田大学大隈講堂などに使われたとされ、重要な工業遺産でもあります。
入館者賞	村上 浩康	絶海の孤島	地質現象	日本・小笠原諸 島上空	2006/11/1	DMC-FX9(パ ナソニック社 製)	2816x2012	日本へ向かう太平洋上空高度10,000メートル。機上から眺める夕陽に照らされる絶海の孤島が浮かび上がっていました。
入館者賞	中野 俊	地獄の怪虫	組写真(地 質現象)	ハワイ島キラ ウエア火山	1998/4/3	Canon EOS550	エクタクロ ーム	粘性が低くなりやや固まりかけたパホイホイ溶岩に見られる奇妙な形。停止・固結した溶岩の表面の殻を破り、次々と新しい生き物が生まれる。地表を這って進む何かの生き物のよう。あたり一面をこのようなサソリやワームの遺骸が埋め尽くす。
入館者賞	須藤 茂	沈み行く環礁	組写真(地 質現象)	Takuu島(空撮)	2003/3/23		スライド	パプアニューギニアの環礁。Takuu(Tauu)島は、南緯5度、東経157度に位置し直径は約13.5kmあります(a)。写真(b)の中央の林の傍に集落が見えます。人口は約250人から2500人まで様々なデータがあり詳細は不明ですが、独特の言語や文化を持っています。大部分が満潮海面から1~2mの低い島なので(c)、海面の相対的な上昇の影響が深刻で、農地の水没、地下水の海水化などにより数年前は食糧援助が、現在は移住が必要になっています。
入館者賞	川辺 よしひさ 禎久	あれから20 年:1986年伊 豆大島噴火	組写真(地 質現象)	伊豆大島三原 山	1986/11/15	Nikon FE	ポジフィルム をスキャンし 電子化	1986年伊豆大島噴火は、11月15日の三原山火口からの溶岩噴泉に始まり、21日突然の割れ目噴火により全島民の島外避難に至る。あの噴火から20年が過ぎた。伊豆大島は今も膨張が続いており、次の噴火への準備を進めている。(a)11月15日午後9時過ぎ、御神火茶屋からみる1974年以来12年ぶりの御神火。(b)11月17日、三原山1986A火口から噴出する溶岩噴泉。放出された溶岩片が放物線を描く。(c)三原山堅坑状火口からあふれ流れ出した溶岩流。アア溶岩のすき間から、赤熱した溶岩がのぞく。